

和寒町出身 ノルディック複合

# 加藤 大平 選手

# 現役引退



競技人生にピリオド



バンクーバーオリンピック(2010年)、ソチオリンピック(2014年)で活躍した和寒町出身の加藤大平選手(33歳)が2018年4月3日、現役引退を表明した。

2007年22歳のときにワールドカップに初出場後、2018年まで通算156試合に出場し、2大会連続でオリンピックに出場、09年には世界選手権団体で金メダリストにもなった。

加藤選手の競技人生は苦難の連続だった。14年ソチ五輪での転倒骨折、15年秋には右ひざを痛め翌春に手術、そして18

年の平昌オリンピックでは代表の落選。だれよりも辛い日々を過ごしてきた。しかし、今シーズンも道産子ではただ1人ワールドカップに参戦し、日本チーム代表として世界で戦ってきた。

「長い間支えていただいたチームや家族、応援していただいたファンの皆様には感謝の気持ちで一杯」と話す加藤選手。今までの加藤選手の雄姿が思い浮かび涙でかすむ。長い間お疲れさま。



加藤選手へ

競技人生本当にお疲れ様でした。

ソチ五輪ではジャンプで転倒、骨折し棄権。最大の目標でもあった団体戦を欠場するなど辛い時期もあったと思いますが、和寒町のみんが加藤選手のジャンプに胸を躍らせ、距離では一緒に滑っているように手に汗を握りながら力を込めて応援したことが昨日のこのようです。

加藤選手の活躍は私たち和寒町民の励みとなり、ともに夢を追いかけることができ、たくさんの感動をもらいました。いままでありがとう。

町民を代表してお礼申し上げます。

和寒町長 奥山 盛